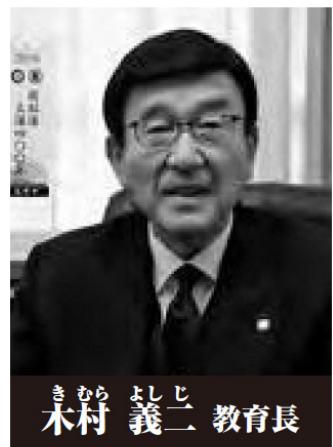


## 木村教育長へ、計画にかける思いを伺いました



木村 義二 教育長

### 計画の策定に対する思い

第1次南丹市教育振興基本計画では、「学校での『学校教育』と学校以外の社会での『社会教育』が分かれていますが、本計画はその枠組みを取り払い、目指す市民像の実現に向けて、教育委員会ができること、進めていきたいことをまとめています。

「人生100年時代」や「生涯学習時代」を迎える中、大人も子どもも生き抜く力、社会の変化を乗り越える力を身に付けていただき、より良い南丹市をつくっていきたい、といった思いを込めています。

### 生涯にわたつて学び続ける 力の育成と環境の構築

子どもも大人も、生きていく上で目標として、夢や希望は非常に大事だと考えています。また同時に、

学力も必要です。子どもたちは学力が付けば付くほど、進路選択の幅が広がっていきます。

また、「人生100年時代」を迎えるにあたり、礼儀などを学び人間を豊かにさせるスポーツや文化活動などの生涯学習の充実、乳幼児期からの読書教育などに取り組んでいきます。

人権尊重の意識は、子どもの時に身に付けると大人になつても変わらません。また、地域の方との交流などにより人の温かみを感じ、そのことがいじめの減少にもつながると考えています。

### ふるさと南丹市を愛する 心の醸成

子どもたちは地域の方と交流し、まちの良さを教えてもらうことによって、「こんなところがあつたんだ」と知るわけです。核家族化が進む昨今では、家庭だけではなく地域の魅力を伝えきれない部分もあります。

また、文化財の魅力創出や自然体験活動などをを行う中で、ふるさとを愛する心が生まれると考えています。

「褒めて伸ばす」教育が大事ですが、日本は諸外国に比べて自信のない子、自己肯定感が低い子が多いです。異年齢での交流や学校・地域社会で活躍できる場をつくり、さまざまな方とふれあい、お互いの多様性を認め合うことで自己有用感も養わると考えています。

そして、子どもの「生きる力」の育成や教職員の「教師力」の向上に教育長として力を入れていきたいと思っています。良い学習環境、指導者のもとには良い子どもたちが育ちます。そのためには保護者をはじめ、地域の皆さま全体のご協力が必要と考えています。今後とも、教育に対するご理解・ご協力をよろしくお願ひします。



▲地域との連携、協働によるホームステイ体験の様子(美山小)

### 市民の皆さんへ

私は、教育は「人間の生き方の種まきなり」だと考えています。

「教育は学校任せたら良い」と思われる方もありますが、今の時代、それでは十分とは言えなくなっています。教職員はもとより、さまざまな種を親や地域の方、いろんな方からまいてほしいと願っています。

### これから社会を生き抜く力 の育成とつながりの構築

多様な人がいることを理解し、互いに尊重し合うことが国際社会で求められています。そのためには、外國語教育やバリアフリーカーリティの啓発、浸透を深めていきたいと考えています。現在の大人が学んできた時代よりも、今の子どもたちの方が広く深いものがあります。

また、家庭教育は教育の第一歩

です。

勉強だけでなく子どもの持

来展望を見据え、さまざまな困難を乗り越える力を付けさせ、じっくり指導してあげてください。地域の方にも子どもに関心を持つていただき、地域全体で「こんな子

を育てていこう」というを目指す

子ども像を共有していただけたらと

思っています。

また、家庭教育は教育の第一歩です。勉強だけでなく子どもの持来展望を見据え、さまざまな困難を乗り越える力を付けさせ、じっくり指導してあげてください。地域の方にも子どもに関心を持つていただき、地域全体で「こんな子を育てていこう」というを目指す子ども像を共有していただけたらと思っています。

そして、子どもの「生きる力」の

育成や教職員の「教師力」の向上に

教育長として力を入れていきたい

と思っています。良い学習環境、

指導者のもとには良い子どもたち

が育ちます。そのためには保護者

をはじめ、地域の皆さま全体のご

協力が必要と考えています。今後

とも、教育に対するご理解・ご協

力をよろしくお願ひします。